

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立日吉台小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

- ◎国語では、「漢字を文の中で正しく書く問題」の正答率が全国平均を下回っていました。また、「書く力」（記述式問題）について課題が見られました。
- ◎算数では「図形」の領域の正答率は全国平均並みの力がありました。「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域の正答率は全国平均を下回り、課題が見られました。
- ◎質問紙調査では、「読書が好きですか」という質問について、肯定的な回答の割合が全国平均よりも高くなっていました。「自己肯定感」は肯定的な回答の割合が低く、課題が見られました。

《強み・弱み》

- 読書に親しむ習慣を身につけさせるために、毎朝「朝読書」の時間を設定しています。「1日当たりの読書の時間が1時間以上である」という児童が年々増えており、全国平均を上回っています。
- △「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合が低かったです。また、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」という質問に対して、当てはまると回答をしている児童の割合が低かったです。

【指導の充実に向けて】

- ◇国語では漢字の書き方をしっかり覚えるとともに、同音異義語について正しく理解し、意味に応じた正しい漢字を書くことができるように指導していきます。
- ◇国語だけではなく、全ての教科で自分の思いや考えをまとめて書く活動を学習に取り入れ自分の考えを整理し、論理的にまとめて書く力を伸ばすことに努めます。
- ◇授業の中に「話し合う活動」を取り入れ、互いの思いや考えを聴き合うことを通して、学びの質を深めていきます。
- ◇児童が自分の考えを自信をもって他人に伝えることができるように、個々を大切に学ぶ学級づくりに努めます。
- ◇体験活動やたてわり活動を充実させ、一人ひとりが達成感や存在感を感じられる学校・学級づくりに努め、児童の自己肯定感を高めていきます。
- ◇「朝読書」の時間を活用し、読書に親しむ習慣を身につけさせるとともに読み解く力の育成に努めます。